

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 / 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ロジスクエア京田辺B新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京田辺市大住池島39-1ほか	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	平均居住人員	540人
地区区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年12月24日
敷地面積	39,867 m ²	作成者	株式会社一級建築士事務所
建築面積	23,868 m ²	確認日	2024年12月25日
延床面積	90,422 m ²	確認者	株式会社一級建築士事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 2.5 ★★★★☆ A: ★★★★☆ B+: ★★★ B: ★★ C: ★	<p>S: ★★★★☆ A: ★★★★☆ B+: ★★★ B: ★★ C: ★</p> <p>3.0 1.5 BEE=1.0</p> <p>100 50 0 50 100 環境負荷 L</p> <p>50 26 0.5 環境負荷 G</p>	<p>標準計算</p> <p>①歩道値 100%</p> <p>②建築物の取組み 76%</p> <p>③上記+②以外の 76%</p> <p>④上記+ 76%</p> <p>92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(歩道値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので</p>
2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質	Q のスコア = 3.6	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 4.0	Q3のスコア = 3.2
<p>N.A. N.A. N.A. N.A.</p>	<p>N.A. 0.5 4.0</p>	<p>3.0 4.0 2.5</p>
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 3.9	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.2	LR2のスコア = 3.9	LR3のスコア = 3.6
<p>N.A. 4.0 4.4 4.0</p>	<p>3.8 4.0 3.4</p>	<p>3.9 3.7 3.2</p>
3 設計上の配慮事項		
適合	その他	
耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	・特に無し。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
対象外。	耐用年数が長い材料を使用している。 災害時における設備機能の信頼性は高い。	緑地帯を設け、周辺環境と調和した外構計画としました。また空調機の熱源についてはすべて電気にて行い、排熱を抑える計画としました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギー対策として、設備システムの効率化を図りました。 BEI=0.38	節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)用いています。雨水利用設備設置している。リサイクル材を活用しています。地域産木材を使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3のスコア = 3.6 LCCO ₂ 排出率76%。 燃焼機器を使用していない。 光害の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される